

2018  
12

# かみつが

No.236

★特集★

合併20周年記念  
★感謝の集い★と  
平成30年度  
JAまつりが同時開催  
されました



かみちゃん

豊かな明日へ  
地域と共に



かみの

よい食

プロジェクト

JA

グループ



Monthly Public Magazine  
**KAMITSUGA**

<http://jakamituga.jp/> e-mail [kamituga@ja-kamituga.or.jp](mailto:kamituga@ja-kamituga.or.jp)



# あぐりなう NOW

JAかみつがは10月、葬祭センターかみつが(13日)と、森友ホール(20日)の両ホールで第12回人形供養祭を開きました。

両ホールで計516家族が思い出の詰まった人形に感謝を捧げ、別れを告げました。



人形に別れを告げる参列者

## # 心を込めて人形供養 JAかみつが #



防火衣を着用して消火体験



bingoゲームはとても大盛り上がりでした

式では大橋正春組合長が「これまで大切にされてきた思い出の人形を心込めて供養させていただく。今後も供養祭など開催し、地域の拠り所となるJAを目指していきたい」とあいさつしました。

壇上いっぱいに並べられた人形やぬいぐるみを前に、葬祭センターかみつがでは今宮神社の山田神職が、森友ホールでは瀧尾神社の増済宮司による清祓祭が行われ、穏やかに供養祭が終了しました。

参加者は「思い出ある雛人形など無事に供養することができて良かった」と話しました。

供養祭の後には、特賞の旅行券や家電製品等が当たるbingoゲームが開かれ、盛り上がりを見せました。会場の外では両ホール協力会による模擬店やバトカー乗車体験、防火衣着用消防体験が行われ、大人から子供まで人形供養祭イベントを楽しみました。

式では大橋正春組合長が「これまで大切にされてきた思い出の人形を心込めて供養させていただく。今後も供養祭など開催し、地域の拠り所となるJAを目指していきたい」とあいさつしました。

壇上いっぱいに並べられた人形やぬいぐるみを前に、葬祭センターかみつがでは今宮神社の山田神職が、森友ホールでは瀧尾神社の増済宮司による清祓祭が行われ、穏やかに供養祭が終了しました。

参加者は「思い出ある雛人形など無事に供養することができて良かった」と話しました。

供養祭の後には、特賞の旅行券や家電製品等が当たるbingoゲームが開かれ、盛り上がりを見せました。会場の外では両ホール協力会による模擬店やバトカー乗車体験、防火衣着用消防体験が行われ、大人から子供まで人形供養祭イベントを楽しみました。

合併20周年記念

# ★感謝の集い★と

平成30年度 JAまつり が同時開催されました

★特集★

Special Feature

J Aかみつが組合員・地域の方へ日頃の感謝を込めて11月10日、11日に日光営農経済センターで、17日、18日に南部営農経済センターでJAまつりを開きました。

10日、17日には合併20周年記念“感謝の集い”も同時開催しました。合併20周年記念式典で功労者表彰を行い、感謝の集いではコウメ太夫、アキラ100%、あっち幾三、中垣みななどお笑い芸人や花咲ゆき美など演歌歌手らが会場を盛り上げました。また、新鮮な農産物や様々な模擬店、組合員向け抽選会、各種イベントコンサートが行われ、多くの来場者で大盛況でした。

日光

## 合併20周年 記念式典 功労者表彰

南部



# 感謝の集い



ちっくしょー!! 炸裂のコウメ太夫



大竹しのぶさん??(中垣みな)



吉幾三? あっち幾三だよ



アキラ 100%のお盆芸に釘づけ



花咲ゆき美の歌声が観客を魅了しました

JAかみつが  
ありがとう20周年

2018

# JAまつり

## 日光地区



ガールズq/bのしーにゃんと一緒にダンス!



銅(あかがね)太鼓(和太鼓)による演奏



渋くてかっこいい!おやじバンド





## とちぎの主力にっこり出荷始まる

上都賀農協  
なし部



出荷規格を確認する部員ら

上都賀農協なし部は10月9日、南部営農経済センターで、平成30年産「にっこり」目ぞろえ会を開きました。同日「にっこり」の初出荷を行い、生産者、関係者ら20名が参加しました。今年産の「にっこり」の生育は天候の影響により平年より早く、着果数も増加。果実の肥大も平年並み～やや小玉傾向です。

熊倉正之部長は「不安定な天候が続くが、目ぞろえをしっかり行い有利な販売を進めていきたい」と力を込めました。

## イチゴ生育状況を確認

上都賀農協  
いちご青年部



検鏡結果報告を聞く参加者

上都賀農協いちご青年部は10月12日、花芽腋花房検鏡報告会を開きました。参加者は平成31年産のイチゴの生育状況を確認し意見交換・情報提供を密に行いました。

12日に調査した今年産のイチゴの開花は平年より若干早く、台風や天候の影響はあったものの被害は少なく生育は順調。上都賀農業振興事務所より今後の栽培管理について説明がありました。

岡部佳友部長は「今年は台風や夏の猛暑など難しい天候が続いたが、盟友一丸となって栽培に取り組む」と力を込めます。

## 日頃の感謝を込めて



宇都宮ブリッツェンの増田選手と岡選手

## J A かみつがサービス株オートバル

J A かみつがサービス株は10月13日にオートバル日光で、27日にオートバルかぬまで、利用者へ日頃の感謝を込めた感謝祭を開きました。

日光では来場者抽選会が行われ、味噌田楽や焼きそばなどの模擬店も開かれました。かぬまでは大声大会、車へ落書きし放題のコーナーを設置、模擬店なども開かれました。またbingo大会では宇都宮ブリッツェンの増田選手と岡選手も会場に駆けつけてくれました。

両会場は大人から子どもまで楽しみ、盛り上がりを見せました。

## 物産館来館200万人達成



来館200万人達成記念セレモニー

## まちの駅新鹿沼宿物産館

まちの駅新・鹿沼宿物産館は9月15日に累計来館者200万人を達成し、10月27日に同構内で来館200万人達成記念セレモニーを開きました。200万人目とその後の来館者と鹿沼市制施行70周年を記念した200万70人目の来館者に、鹿沼市佐藤信市長、JAかみつが大橋正春組合長らがJAかみつが産の農産物などを贈呈しました。

来館200万人目の山本イ工さんの代わりに参列した福田宏奈さんは「200万人目と聞いて驚いた。今後も新鮮な野菜が手に入る物産館を利用ていきたい」と話しました。





あ  
ぐ  
り  
し  
ユ



伏木 俊夫さん  
(47)

日光市塩野室町

伏木さん宅はハウス・露地野菜を中心栽培し、年間を通して直売所に出している専業農家です。



## 多品目栽培で持続可能な農業経営を目指して

伏木さんは昔から親が営んでいました。宇都宮農業高校（現・宇都宮白楊高校）を卒業後就農しました。収穫した農産物は奥さん（貞恵さん）のアドバイスで全て直売所に出荷しています。地域にある農協や直売所とうまく連携し、消費者のニーズを考え、栽培品目を増やし収益を上げていきました。

春から夏にかけてはカブや白ナス、メロン、スイカ、秋にはミニトマト、カリフラワー、冬にはホウレンソウ、キヤバツ、ダイコンなど栽培しています。一年を通して様々な農産物を生産することで、もしもの時の天候不順や自然災害に対応することができ、安定的に供給する体制を整えています。

年間の栽培スケジュールを綿密に計画し、輪作栽培で減農業・省力化にも心がけています。数年前よりも栽培品目は増え、目標としていた冬野菜の生産性アップも軌道にのってきました。

伏木さんは「今後も消費者の需要に合うものを栽培し、経営を安定させ持続可能な農業を目指していく」と笑顔で話してくれました。

かみつがdeChoice



### 真っ赤な宝石「とちおとめ」

いちご王国栃木県を代表するとちおとめ。甘くて美味しいだけでなくビタミンCや食物繊維を豊富に含んでいて健康にも効果的です。生産者が心を込めて育てたかみつが産とちおとめを是非ご賞味下さい。

JAかみつが 奈佐原直売所

住所 鹿沼市奈佐原町527  
電話 0289-75-3311

まちの駅 新・鹿沼宿物産館

住所 鹿沼市仲町1604-1  
電話 0289-60-2507













